

科目区分：人文・社会科学

授業科目名	社会と歴史（西洋古代史）				学期	曜日	校時
英語名	Society and History (Ancient History of Europe)						
担当 教官名	堀井健一	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	水曜日 1校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>本講義の主題は「古代ギリシアの職業と職業観」とし、社会史を講ずる。古代ギリシアの歴史を例として異文化としての古代社会、歴史のダイナミックな流れを学んで、それらを説明できるようにする。講義の趣旨から見て、中学社会・高校地歴の教員免許取得を希望する学生に受講して欲しい。内容が傭兵・彫刻家・医者・哲学者・俳優など多岐の職業にわたるので一般教養としても勧めたい。</p>							
テキスト、教材等							
<p>テキスト：マケクニー『都市国家のアウトサイダー』（ミネルヴァ書房） 他にプリント資料を配布する。</p>							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	定期試験（60%）、宿題（プリントによる予習）（20%）、授業への出席状況（20%）を考慮して行なう。						
授業計画							
<p>第1回 オリエンテーション（「歴史とは何か？」）</p> <p>第2 - 3回 古代ギリシアの世界：気候風土、ポリスとポリス市民 次の農耕や日常生活の話と関連する気候風土について、そしてポリス社会という小さな古代ギリシア独特の国社会について。</p> <p>第4 - 5回 農耕：農耕の方法、市民の農業観 異文化としての西洋古代社会の農耕について。</p> <p>第6 - 7回 傭兵：傭兵の事例とポリス社会 古典期ポリス社会の半ばに現われた傭兵たちが古代ギリシア人社会を揺さぶる。閉鎖的なポリス市民が国外で活躍するようになる。</p> <p>第8 - 12回 移動型の技能者：建築家、彫刻家、医者、哲学者、ヘタイラ、俳優 彫刻家のリュシッポスは東はトルコの小アジアから西は南イタリアまで旅行した。哲学者のアリスティッポスとディオゲネスは様々な諸国を渡り歩き、途中で海賊に出会った。有能なヘタイラ（遊女）や俳優は、諸国を渡り歩いて稼いだ。</p> <p>第13回 商人：貿易商とポリス社会イデオロギー 古代ポリス社会は農耕社会なので、商業活動を蔑視した。だが、世界の広がりとともに</p> <p>第14回 結び：古典期のポリス社会からヘレニズム社会へ（マケドニア王アレクサンドロスのペルシア遠征は、どのような社会をもたらしたのか？）</p>							
オフィスアワー（質問受付時間）：水曜日の2，4校時時間帯 教員研究室							